

淡江大學 98 學年度碩士班招生考試試題

系別：日本語文學系

科目：日 文(閱讀、作文)

本試題共 1 頁，2 大題

一、請寫出下列意思相當的諺語之日文 (各 5 分、共 50 分)

- 1、一度ごたごたのあった後、かえって物事が落ち着いていくこと。
- 2、不正な手段によって楽々手に入れたお金はすぐなくなってしまうものだ。
- 3、利益だけに気を取られているものは道理を忘れてしまう。
- 4、ちょうどでなく、中途半端なので、どちらの役にも立たない。
- 5、悪い行いや評判はあつという間に遠くまで知れ渡ってしまうこと。
- 6、自分の作り出した悪事のために自分が苦しみを招くこと。
- 7、何事も根気が必要だということのたとえ。
- 8、少しの金で大もうけをすること。
- 9、名人は道具のよしあしなど問題にしない。
- 10、口は慎むほうがいい。

二、閱讀以下文章，用日文回答問題

(注意：文章必須在 200 字以上，不足會被扣分。共 50 分)

「文字記録が少ないか十分かなどということは歴史の動きと関係がない、そんなことで時代を切ってしまうのはご都合主義ではないか、という人がいるかもしれないが、そうではない。文字がふんだんに使われる社会とそうでない社会とでは、社会そのものの性質が違う。」(『日本の歴史1』より引用)

ここでいう「文字が使われる社会」と「文字を持たない、あるいはまだ十分に用いない社会」とでは、社会そのものの性質が一体どう違うのかについて論じなさい。